# 生ゴミや食品廃棄物を堆肥化して廃棄物を削減

オアフ島では、年間約**6**万トンのゴミが食品廃棄 によるものです。食品廃棄物 を堆肥化することで、廃棄物を減らし、栄養豊富な肥料を作ることができます。

賞味期限が切れる前に、不要な市販のパッケージ食品（缶詰など）を寄付しましょう。

キッチン用保存容器 に食品を入れて、生ごみを堆肥に変えるための3つの簡単な手順を、中面でご確認ください。

## キッチン用保存容器 には何を使えばいいですか?

- キッチン用収集ペール
- 再利用可能なシリコンバッグまたは再封可能な保存用袋（ジップ式ビニール袋など）
- 蓋付きの再利用容器（例：ヨーグルトの容器）

## キッチン用保存容器 が必要ですか?

ENV（市の環境課）のワークショップに直接参加するか、市のリサイクル課にお問い合わせください。

## サポートを受けるには：

1. オンライン：honolulu.gov/env/grow
2. ホットライン：(808) 768-3200
3. メール：opala@honolulu.gov

**SNS**でフォローしてください！

ウェブサイトをご覧ください！

@HNL.ENV　@HNL.ENV1　@HNL_ENV

## キッチン用保存容器や再利用可能な袋 の活用方

- キッチン用保存容器に重曹を振りかけて、悪臭を防ぎましょう。
- キッチン用保存容器や袋はしっかりと密閉してください。
- 生ゴミは冷凍してください。袋は冷凍庫に保管し、回収日の前夜または当日の朝に中身を出してください。
- 悪臭を防ぐため、キッチン用保存容器と再利用可能な袋は定期的に洗って乾かしてください。

## グリーンコンポストカートの活用方

- グリーンコンポストカートは2週間に1回出してください。
- 悪臭を防ぐために重曹を振りかけてください。
- 有機廃棄物（芝生の刈草、枯葉、剪定枝など）と生ゴミを交互に重ねて入れ、カートの底には有機廃棄物を敷き詰めて、生ゴミや食品廃棄物から出る余分な水分を吸収させてください。
- 生ゴミは冷凍しておき、回収日の前夜または当日の朝にグリーンコンポストカートに入れてください。
- グリーンコンポストカートは日陰に置き、蓋をしっかりと閉めてください。

## 生ごみ処理の注意点

生ゴミをガーベージディスポーザーにかけるのは控えてください。油脂類（FOG）は特に有害ですので、吸収材でしっかりと吸収させてから、一般ゴミ用カートに入れてください。

生ゴミも入れてください！

# 生ゴミ回収ガイド

GROW GREEN RECYCLING ORGANIC WASTE

ENV Community. Commitment. Continuity.

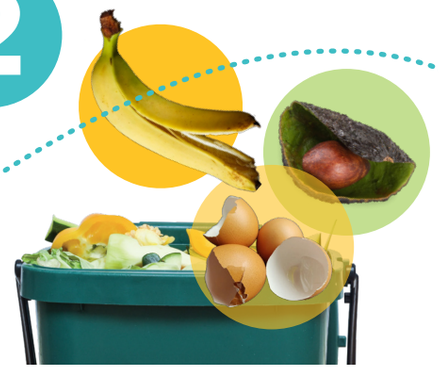
honolulu.gov/opala

# 生ゴミ・食品廃棄物の回収に関する簡単な手順

1

キッチン用保存容器を、キッチンの使いやすい場所に置いてください。

2



生ゴミも入れてください！すべての生ゴミや皿に残った食べかすをキッチン用保存容器に入れてください。液体は入れないように注意してください。

3

キッチン用保存容器の中身を、有機廃棄物と一緒にグリーンコンポストカートに入れてください。グリーンコンポストカートは隔週の回収日に外に出してください。

## 生ゴミも入れてください！

- 果物
- 野菜
- 乳製品：常温で固形または半固形の物（チーズやヨーグルトなど）
- パンや焼き菓子
- パスタ、米、穀物、シリアル
- 豆類、ナッツ類、種子類
- 肉、魚介類、鶏肉、骨（魚や鶏の骨など）
- 卵の殻、ナッツの殻、魚介類の殻
- 残り物や腐った食品
- 食卓の残飯や皿に残った食べかす
- コーヒーかすや茶葉・茶殻

覚えておいてください――第一に食品を無駄にしないことが大切です！食品廃棄は発生源で減らすことができます。食事の計画を立て、必要なものを買うための買い物リストを作成しましょう。食品は適切に保存し、冷蔵庫を整理し、傷む前に食べたり冷凍したりしてください。もし食品廃棄物がある場合は、堆肥化のためにその食品をグリーンカートに入れてください！ なお、家庭から出る食品廃棄物は臭いが強く、害虫の発生原因となる可能性があるため、冷凍することをお勧めします。

### 入れないでください

- 液体
- 紙および紙製品
- プラスチック
- 金属
- ガラス
- 植物性又は動物性の油脂（FOG）
- 堆肥化可能素材製造物（MCM）：「堆肥化可能」および「生分解性」と表示された製品
- ペットの排泄物
- コーヒーカップ
- テイクアウト容器およびピザの箱
- ファストフードの包装紙およびパッケージ
- コルク栓、輪ゴム、農産物の価格シール、止めひも